



イノチオ診断室からの 病害虫情報

2020年
9月号



ピシウム属菌による病害の増加が予想されます！



病原菌	糸状菌 <i>Pythium myriotylum</i> , <i>P. aphanidermatum</i> など複数種がある 高温性と低温性の病原菌が存在するため、年中発病する可能性がある
感染作物	ウリ科・ナス科・アブラナ科の野菜類、キク科の花き類など 多犯性病害
症状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 主に根に感染し、飴色に根が変色する ▶ 養水分の吸収が妨げられ、地上部の黄化・萎れ・枯死などの症状に繋がる
多発条件	▶ 前作の発病圃場 ▶ 土壌・培土の過湿や高ECなどによる根痛み
対策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 被害部・残渣・隔離培地の圃場外への除去 ▶ 根痛みを予防する栽培管理（過灌水・高ECを避ける） ▶ ユニフォーム粒剤・オラクル顆粒水和剤・タチガレン液剤などの散布・灌注処理 ▶ 土壌消毒の実施（土耕栽培）・オクトクロスの利用（水耕栽培・予防策）

※農薬はラベルを
確認後ご使用ください。

！病害虫発生予報！

※『あいち病害虫情報』発生予報第6号より（9月1日発表）
<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yosatu2020.html>

作物名	病害虫名	発生量	作物名	病害虫名	発生量	作物名	病害虫名	発生量
イネ	紋枯病	やや多い	果樹共通	カメムシ類	やや多い	野菜共通	ヨイチゴヨトウ	やや多い
	トビイロウカ	多い	ダイズ	ハスエトウ	やや多い		ハスエトウ	やや多い
	コブノメカ	やや多い		吸実性カメムシ類	やや多い		オタハコガ	やや多い
	斑点米カメムシ類	多い	キャベツ・ルカイ ダイコン	ハイマダラノメイガ	やや多い	キク(露地)	ハダニ類	多い
ウシユウカ	チャネイロザミマ	やや多い				ハスエトウ	やや多い	

土壌コラム

第2回：pH（水素イオン濃度）について

作物にはそれぞれ適したpH領域があり、不適なpHでは生育しなかったり、生育が劣ってしまいます。pHは土壌中のアルカリ成分・酸性成分の割合で変化するため、土壌pHの適正化のためには土壌の化学性の把握と改良資材の適切な施用が重要です。

pHを上げる ……石灰肥料など
pHを下げる ……硫黄華など

※土壌pH矯正する際には、安全のため少量の土壌を用いてテストして、改良に必要な資材量を算出して下さい。

作物	好適pH領域
トマト	5.8～6.6
キュウリ	6.0～6.8
イチゴ	5.4～6.2
キャベツ	6.4～7.0※
キク	5.6～6.4

※根こぶ病予防のため

☀ 気象庁1か月予報 ☔

気温：高い

降水量：ほぼ平年並み

日照時間：ほぼ平年並み

過去の診断室情報は
右のQRコードから！
毎月の防除情報も
配信しています！

